「医学図書館」執筆規程　2025年3月改訂

Ⅰ．本誌の内容

本誌は特定非営利活動法人日本医学図書館協会機関誌として，医学およびその関連分野における情報活動・サービス等に関する記事と読者間のコミュニケーションを重視した定例記事やニュース記事で構成され，他誌に発表されていない原稿を和文または英文により掲載する。他誌へ投稿中の原稿は採用しない。

Ⅱ．原稿の書式

1. 投稿表紙

本誌のウェブサイト（https://jmla1927.org/bulletin.php?q=506）からダウンロードして，所定事項を記入する。標題は，論旨を具体的に表現したものとする。また日本医学図書館協会の活動報告については，所属欄に協会の役職もしくは活動事業の担当名を併記する。

2. 本文

原則としてWord形式で作成する。

様式は，A4版設定に25字×22行の横書きで作成する。やむを得ず手書きの場合はA4サイズの横書き400字詰原稿用紙を用いる。

記事の長さは，図表を含めて刷り上がり8ページ（25字×22行のA4版用紙4枚が，実際の誌面の刷り上がり1ページに相当）以内とする。各記事の長さは後述のⅢを参照のこと。

各章の標題は，大項目をⅠ．Ⅱ．Ⅲ．（ローマ数字）…，中項目を1．2．3．（アラビア数字）…，小項目は，1）2）3）…のように表記し，大項目の前後は1行空ける。中項目の前は1行空ける。英数字は半角を用いる。

また原稿には通しページを記入する。

3. 英文抄録およびキーワード（英語）

原則としてWord形式で，本文とは別ファイルで作成する。

論文・事例報告には必ず英文抄録とキーワードを付与する。

特集記事は，内容によって作成を依頼する場合がある。また，オピニオン，レビュー，解説，特集，オン・ザ・スポットの英文抄録およびキーワードは任意とする。

英文抄録は200語程度（60字×17行程度が目安）で作成し，キーワードはMeSH等を参考にして5個以内で付与し，英文標題も明記する。抄録は一人称の使用は避け，第三者抄録のスタイルとする。英文標題と抄録は，編集委員会が外部委託により校正をする。ただし，投稿前に英文校正済みの場合は行わない。

4. 図表など

図表は簡潔に作成し，文中に挿入する箇所を指定する。生データを図表にしたものは避ける。原稿そのものから組版できるようにモノクロで作成し，Excel等の図表作成ソフトで作成した別ファイルをそのまま提出する（PowerPoint等の貼り付け画像は用いない）。

他の文献等から図表などを引用・利用する場合の転載許可・掲載許可は著者がとる。写真を掲載する場合は肖像権やプライバシーにも十分に留意する。引用・利用の出典は文中あるいは引用文献・参考文献リストに明記する。「グラフ作成のポイント」を参照のこと（「医学図書館」ウェブサイト　https://jmla1927.org/doc/kikanshi/doc/graph.pdf）。

図表の標題，説明文はキャプションテンプレートに記入する。掲載時の図表の大きさと位置は編集委員会に一任する。また，カラー画像を希望する場合は，その費用は著者負担とする。

5. 参考文献

本文の末尾に記載すること。引用する参考文献は主要なもののみに限定し，一般に入手可能なものが望ましい。

引用文献は引用順に一連番号をつけて配列し，引用箇所には肩付片括弧数字を記入する。

著者が6名以内の場合は全員の名前を記載し，それ以上の場合は最初の6名まで名前を記載し，後は（ほか）または（et al.）とする。欧文雑誌名の省略は，MEDLINEの省略名に準拠し，和文誌名は省略しない。

文献のページ表記は，以下の例のように省略して記載する。最終ページは開始ページと重複する部分は省略する。

ページ記載例　341-347.　→　341-7.

Presented by Medical*Online

同一書誌内からの引用・参考についても「同上」などの省略を避け，書誌事項の全てを記載する。
引用文献・参考文献の記載方法はCiting Medicine, 2nd edition: The NLM Style Guide for Authors, Editors, and Publishersに準拠する（参考URL：https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK7256/）。

〈引用文献・参考文献の記載方法と例〉

電子文献の場合は，通常の引用方法に[媒体]，URL，アクセス日を加える。

a. 逐次刊行物

著者．論文名．誌名．出版年；巻数（号数）: 開始ページ - 最終ページ．

1) 城山泰彦．ジャーナル評価指標の経年変化：学問分野におけるJournal Impact Factorの分析をとおして．医学図書館．2023;70(2):73-7.
2) 山崎むつみ，増田裕美．がん拠点病院における医療者の電子学術情報アクセス：リンクリゾルバによる支援と課題．医療情報学連合大会論文集．2010;30th:588-90.
3) 特集1．使いやすさとデザインを考える：Webのユニバーサルデザインって何ですか？．Web Designing. 2002;2(5):40-63.
4) 菅修一．吉村昭記念文学館と群馬県立文書館で開催された資料展示会見学報告．医学図書館．2023;70(4)(印刷中).
5) 研究成果の減少懸念も．医師の働き方改革4．医療ルネサンス No. 8160．読売新聞．2023年12月18日;朝刊.
6) Boruff JT, Kraft M, Carroll AJ. Introducing the Journal of the Medical Library Association's policy on the use of generative artificial intelligence in submissions. J Med Libr Assoc. 2023;111(4):747-9. doi:10.5195/jmla.2023.1826.
7) Sugita S, Horikoshi K, Suzuki M, Kataoka S, Hellman ES, Suzuki K. Linking service to open access repositories. [internet]. D-Lib Magazine. 2007;13(3-4). http://www.dlib.org/dlib/march07/sugita/03sugita.html [accessed 2024-02-24]

b. 単行本

著者．章の見出し．編者名．書名．版表示．（シリーズ名；シリーズ番号）．出版地：出版者；出版年.p. 開始ページ - 最終ページ．

1) 大﨑泉，成田ナツキ．図解PubMedの使い方：インターネットで医学文献を探す．第8版．東京:日本医学図書館協会;2022.
2) 小田光宏，庭井史絵．図書館サービス概論．（JLA図書館情報学テキストシリーズⅢ;4）．東京:日本図書館協会;2023.
3) アンドリュー・グッドヘッド，ナイジェル・ハートレー編（小森康永［ほか］訳）．みんなのスピリチュアリティ：シシリー・ソンダース，トータルペインの現在．京都:北大路書房;2020.
4) Brodman E. Research in health science libraries. In: Darling L, editor. Handbook of medical library practice. Vol.1. 4th ed. Chicago:Medical Library Association;1983.p.273-317.
5) 田中草大．＃卒論修論一口指南．東京:文学通信;2022．[internet]．https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000134942?0 [accessed 2023-12-21]

c. 会議録，学会抄録

著者．論文名．誌名：学会開催日；学会開催地：出版者；出版年.p. 開始ページ - 最終ページ．

1) 山崎茂明．論文発表からみたES細胞ねつ造事件．第23回医学情報サービス研究大会抄録集:2006年7月15-16日;千葉:医学情報サービス研究会;2006.p.15.

d. 非図書資料

書誌記述方法の詳細は，印刷媒体の引用方法を参照すること。

著者．論題［媒体］．書誌．

1) 日本医学図書館協会ビデオ制作委員会企画･監修．医学研究のための文献の探し方[video]．（Library video series医学情報の達人;2）．東京:紀伊國屋書店;1994.

Presented by Medical*Online

e. Webサイト

サイト名 [internet]. URL [accessed yyyy-mm-dd]

1) 日本医学図書館協会[internet]. https://jmla1927.org/index.php [accessed 2024-02-24]

f. Webページ

著者. タイトル [internet]. URL [accessed yyyy-mm-dd]

1) JPCOAR. オープンアクセスリポジトリ推進協会の概要[internet]. https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/38 [accessed 2024-02-24]

Ⅲ. 記事の長さ

原稿量の目安は，以下を参照のこと。なお「本文枚数」に参考文献の分量は含まない。

記事区分	本文枚数	図表枚数	英文標題	英文抄録
会員館紹介	3～5	2以内	必要	不要
広場	3～6	2以内	不要	不要
読者からの手紙	2～3	ナシ	不要	不要
レビュー	16～23	10以内	必要	任意
オピニオン	12～20	5以内	必要	任意
解説	12～20	5以内	必要	任意
特集	8～19	10以内	必要	任意
論文	12～19	10以内	必要	必要
事例報告	8～15	5以内	必要	必要
エッセイ	12～20	5以内	必要	不要
報告・JMLA活動報告	8～20	5以内	必要	不要
オン・ザ・スポット	3～12	1～2	必要	任意
プロダクト・レビュー	3～6	1～2	不要	不要
Q&A	3～6	1～2	不要	不要
レファレンス事例集	2～4	3以内	不要	不要
BookReviews	750字	1	不要	不要

Ⅳ. 校正

初校は著者校正とする。著者は依頼されたら，速やかに校正を行い返送する。この際，原稿にない大幅な修正や加筆はしない。

Ⅴ. 別刷

著者に，別刷（PDF版）を無償提供する。印刷版を希望する場合は，投稿表紙の所定欄に記入する。また，その費用は著者負担とする。

別刷料金表（税別）

部数＼頁数	1頁	2頁	4頁	6頁	8頁
別刷　50部		4頁以下：5,000円		5,500円	6,000円
100部		4頁以下：7,000円		7,500円	8,000円

製本　中とじ

用紙　表紙　上質紙110kg，本文　上質紙70kg

梱包発送料　1点につき1,000円（税別）

上記は，国内発送の場合とし，海外発送の場合は，別途とする。

Presented by Medical*Online

Ⅵ．掲載原稿の取り扱い

掲載された記事の原稿は，原則として返却しない。ただし，写真については投稿時に著者の希望があれば後日返送する。

Ⅶ．査読

編集委員会が中心となって行う。外部査読員に審査を依頼し，審査結果をもとに著者による修正・加筆をした最終原稿の再提出を要求する場合がある。

また，記事区分の最終決定は編集委員が行う。

Ⅷ．著作権

本誌に掲載する論文・記事等に関する著作財産権の帰属および著作物の利用については，本会の著作権に関する内規による。

Ⅸ．投稿締切日の目安

投稿に際しては，以下の締切日を目安にする。

号	発行月	締切日
1号	3月	前年11月末日
2号	6月	同年 2月末日
3号	9月	同年 5月末日
4号	12月	同年 8月末日

Ⅹ．原稿提出の方法

原稿は電子メールに添付して送信するか，原稿を保存した電子メディアを郵送する。

なお原稿は以下のファイルで構成することとする。

・「投稿表紙」（Ⅱ－1）参照

・本文

原則としてWord形式で作成すること。

・図表

原則としてExcel形式で作成すること。

・英文抄録（必要に応じて）

200字程度，60字×17行程度を目安として作成すること。また5個以内でキーワードを付与すること。

原稿提出先・問合せ先

「医学図書館」編集委員長　浅野　　泉

E-mail：JMLA-editorial-A@umin.ac.jp

ただし編集委員会からの依頼原稿は，それぞれの担当者へ提出するものとする。

・「医学図書館」ホームページ

https://jmla1927.org/bulletin.php

・「医学図書館」執筆規程2025年3月改訂

https://jmla1927.org/doc/kikanshi/kitei.pdf

・「医学図書館」執筆ガイド2024年版

https://jmla1927.org/doc/kikanshi/guide.pdf

Presented by Medical*Online